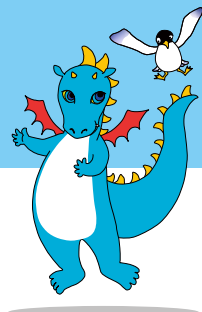


自然のめぐみ

水しるべ

No.7



- 平成25年度 水・自然エネルギー体験等イベント報告
- 自然エネルギーって何かな? 第3回風力発電
- 一般財団法人「かながわ水・エネルギーサービス」が行う公益事業



やどりき沢での水生生物採取の様子



一般財団法人 かながわ水・エネルギーサービス

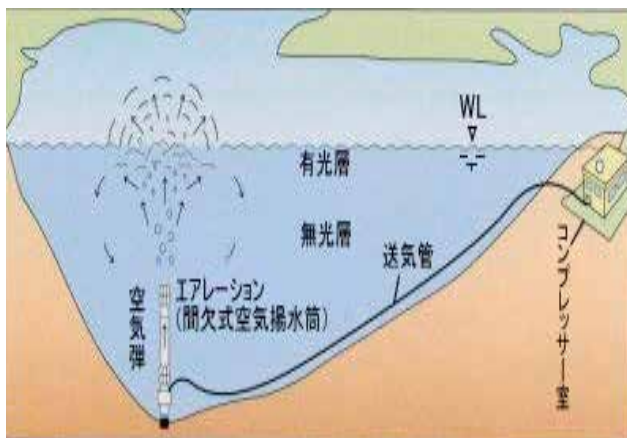
平成25年度 水・自然エネルギー体験等イベント報告

一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスでは、神奈川県企業庁との協働事業の一環として、県内在住の小・中学生とその保護者を対象に、「水資源の保全や有効利用」や「太陽光発電などの環境にやさしい自然エネルギー」について関心を深めてもらうため、7月～8月の夏休み期間中に各イベントを開催しました。

「水源林保全体験」7月26日(金)

「緑のダム」といわれる水源林を整備するため、県立21世紀の森で水源林の木々の成長を妨げる竹林の除伐作業を体験しました。また、森林の木々の成長を促すために行われる間伐の際に発生した間伐材を利用したクラフト工作を行いました。

○ 参加者 26名 : 保護者 13名 小学生 13名



※エアレーション 湖の底に空気を送って水を攪拌します。



ソーラーカー工作



ノコギリを手に竹林の除伐



カンナを使って間伐材で箸づくり



「水・自然エネルギー体験」8月1日(木)

県営水道の主要なみずがめのひとつである相模湖で、相模湖誕生の歴史やアオコの発生を防止し水質を保全するエアレーションについて学びました。

「水の工場」谷ヶ原浄水場では、施設見学と水の飲み比べ(緩速ろ過水・急速ろ過水・ミネラルウォーター)、また、相模川発電管理事務所では、城山ソーラーガーデン(太陽光発電施設)の見学とソーラーカー作りを行いました。

○ 参加者 78名 : 保護者 34名 小学生 44名





ピオトープでの水生生物採取

「ビオトープ観察会と相模湖見学」 8月8日(木)

神奈川県水産技術センター内水面試験場で試験研究施設の見学をするとともに、施設内の谷戸池（ピオトープ）で、水生昆虫やホトケドジョウなどの水生生物を採取しました。採取した生物はスケッチや観察をするとともに、その生態についても学びました。また、県営水道の主要なみずがめのひとつである相模湖で、湖誕生の歴史やエアレーションについて学びました。

○ 参加者

33名：保護者 15名 小学生 18名



湖上で相模湖誕生の歴史等を学ぶ

「水源の森林観察会」 8月22日(木)

足柄下郡松田町寄地内の酒匂川上流域の中津川にある「やどりき水源林」で、森林インストラクターと一緒に水源林内を探訪し、そこに自生している植物などの生態と生命に欠かすことのできない「水」と「森林」の深い関わりについて説明を受けました。また、「やどりき沢」では、沢に生息している水生生物を採取し、その生態などについても、説明を受けました。

○ 参加者

30名：保護者 12名 小学生 18名



森林インストラクターと散策



やどりき沢で採取した水生生物

自然エネルギーって何かな? 第3回 風力発電

2011年3月、東日本大震災という大きな地震が発生しました。その地震により、原子力発電所が被災し、電力が不足することとなりました。そのため、夏には暑い中クーラーの設定温度を上げたり、仕事をする時間を変えたり、私たちの生活に大きな影響がありました。

そこで、新たな電力として自然エネルギーが注目されています。

～自然エネルギーって何かな?～

代表的な自然エネルギーである太陽光発電、水力発電、風力発電、地熱発電について4回に分けてその仕組みを紹介しています。

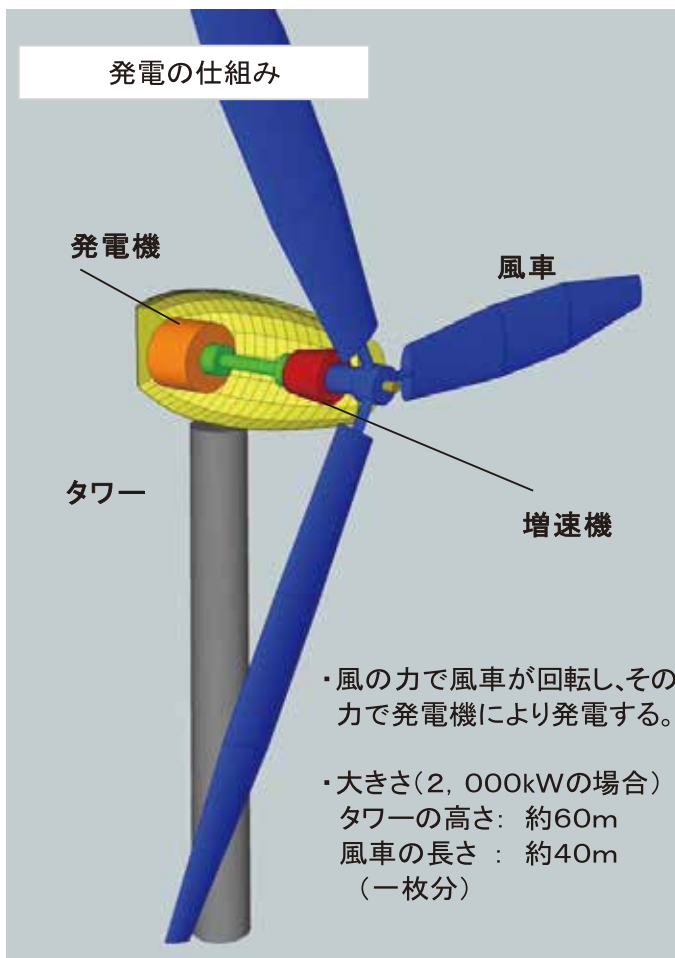
今回は第3回 風力発電です。

風の力を利用する風車はオランダが有名です。

風力発電はその風の力で現代生活に欠かせない電気を作ることができます。

日本では北海道や東北など強い風が一年中吹いている地域にたくさんの風力発電装置が設置されています。

神奈川県内には、横浜市、川崎市、三浦市に5基の風力発電装置が設置されています。



たくさんの風車が並ぶ宗谷岬ウィンドファーム (稚内)

●メリット(長所)

- ・風の力で発電するので国産エネルギーである。
- ・二酸化炭素を出さない自然エネルギーである。

●デメリット(短所)

- ・風が急に吹いたりやんだりして、一定の発電ができない。
- ・風車に鳥が巻き込まれることがある。

2013年3月末時点における、日本の風力発電の状況は、総設備容量 264万kW、総設置基数 1,913基となっていますが、その発電量は日本全体の発電量の1%にも届きません。

今後はデメリットを克服する技術が確立され、長期的に大規模な風力発電が導入されること期待されます。

(一財)かながわ水・エネルギーサービスが行う公益事業

当財団は、水資源の有効利用等の普及啓発並びに地域振興のためにスポーツ・レクレーション施設、駐車場等の設置及び運営を行うほか、神奈川県企業庁が行う業務を受託することを通じて、きめ細かいサービスの提供を行い、広く公共の福祉に寄与することを目的とし、昭和60年4月1日設立されましたが、平成25年4月1日から一般財団法人に移行するとともに、名称を「一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス」に変更し、従来から行っていた公益事業のほかに、水資源や自然エネルギー等の有効利用のための普及啓発に関する事業を新たに開始しました。

新たな水資源及び自然エネルギー等有効利用のための普及啓発事業は、次の3事業です。

1 学校直結直圧式給水事業への助成

神奈川県営水道の給水区域内で受水槽給水方式をとっている小学校を対象に、水の安全性、水のおいしさを追求するために市町が行う「学校直結直圧式給水事業」に対して助成を行い、水道事業の役割や自然環境保全の重要性について啓発を行っています。

2 浄水場等施設案内業務

企業庁寒川浄水場や企業庁が新たに愛川町に設置した太陽光発電施設を訪れる見学者に対して案内業務を行い、水道事業の役割や自然再生エネルギーの重要性について啓発を行っています。

3 再生可能エネルギー導入基礎調査（神奈川県内における「小水力発電」の可能性）

これまで利用されてこなかった小水力発電の導入可能性について、発電施設設置の候補地点の現地調査や河川の流量調査及び測量を行い、小水力発電計画の概略を作成するとともに、調査結果を地域団体等に情報提供し、再生可能エネルギーの普及啓発を図っています。



太陽光発電施設

（愛川ソーラーパーク（愛川町半原））



小水力発電調査対象地点

（砂防ダムなどで落差と水量を利用して発電します。）

当財団では従来から、公益事業として「水・自然エネルギー等普及啓発事業」「水質浄化思想等普及啓発事業」「水道記念館運営事業」「身体障害者へのスポーツ活動助成事業」を行っています。

※ 公益事業とは、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第2条に定められた事業で、例えば「学術及び科学技術の振興を目的とする事業」や「障害者若しくは生活困窮者又は、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業」等の23事業を言います。

平成26年度実施予定の水・自然エネルギー体験イベント

神奈川県水道記念館では、平成26年7月・8月に「水源林保全体験」、「ピオトープ観察会」、「水・自然エネルギー体験」、「水源の森林観察会」を予定しております。

なお、実施時期等につきましては、今後県企業庁が発行する「県営水道さがみの水」等に掲載致します。

当財団では個人情報取扱いについて プライバシーマークを取得しています。

個人情報保護方針

当財団は、水資源や自然エネルギー等の有効利用等のための普及啓発事業を行うほか、水道・電灯・ダム関連事業等の業務及び施設維持管理業務を実施し、水道水やクリーンエネルギーの安定供給に資することにより、地域住民の生活環境の向上と地域社会の発展に寄与するにあたり、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報保護マネジメントシステムの要求事項であるJIS Q 15001:2006」に基づく個人情報保護マネジメントを構築することにより、適正な個人情報の保護・管理を行ってまいります。また、常勤役員及び職員等へ周知し、遵守させることにより、さらに当該財団の価値を高めより継続的な発展を目指してまいります。

(個人情報の取得)
個人情報の取得は、当財団の事業に必要な範囲内で利用目的を明確に定め、適法かつ適正・公正な方法によって行います。

(個人情報の利用及び提供)
取得した個人情報は、予め定めた範囲で利用することとし、目的外利用を行わない管理を行ってまいります。また、法令等が定める場合を除き本人の同意を得ない第三者には提供しません。

(法令、国が定める指針並びにその他の規範の遵守)
個人情報保護に関する法令、国が定める指針及びその他の規範を遵守するとともに、個人情報保護マネジメントシステムの要求事項JIS Q 15001:2006に基づく適正な個人情報保護・管理を行います。

(個人情報の安全管理)
個人情報の漏洩、滅失又は毀損等を防止し、事故発生時の迅速な改善策を講ずるとともに適切な安全管理を講じてまいります。

(個人情報の苦情及び相談窓口)
個人情報に関する苦情及び相談窓口を設け、苦情及び相談並びに本人の情報の開示、訂正、利用停止等を求められた場合には迅速に対応します。

(個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善)
個人情報保護マネジメントシステムに基づく内部監査結果、個人情報保護に関する諸情勢の変化等に適切に対応し継続的な改善を行ってまいります。

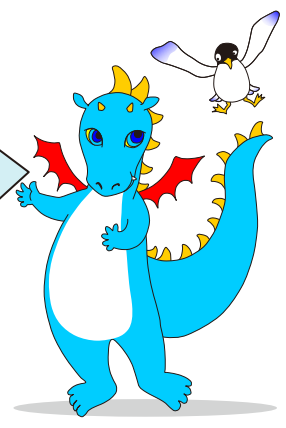
制定日 2008年7月1日

一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス
理事長 大 熊 謙 二

個人情報苦情相談窓口
〒252-0233
相模原市中央区鹿台1-9-15
一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス
個人情報保護委員会事務局(経団連)
個人情報保護管理相談窓口担当者
事務局長 小 宮 進
TEL 042-768-4222

10940023(03)

僕は「サミー」！
水・自然エネルギー体験イベントのイメージキャラクターです。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

＜ 編集後記 ＞

今年度実施した体験イベントでは、水源の基になる森林や湖の水質の保全の大切さを、参加者が自分自身で体験でき充実したイベントとなりました。

今後も、水資源の保全や有効利用、さらには環境にやさしい自然エネルギーなどの啓発に努めてまいります。

発行月：平成26年1月
発行所：一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス
ホームページ <http://kmes-kanagawa.or.jp/>
問い合わせ先：神奈川県水道記念館
〒253-0106 高座郡寒川町宮山 4001
☎ 0467-74-3478 FAX 0467-75-8755
ホームページ <http://www.kappo.jp/>

水しるべ

森林から蛇口までの水の流れをイメージに、水とのふれあいを通じて私たちの暮らしを支える水循環、水をきれいにする「指標(水しるべ)」とします。